

GA331

言語文化演習－比較文化研究（小説と映像）－

前川 裕

配当年次／単位：3～4年／4単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

学生は小説の研究や映像の鑑賞を通して、文化を比較することの意味を考える。研究対象は、芥川龍之介、谷崎潤一郎のような純文学作家だけでなく、江戸川乱歩・横溝正史・松本清張・綾辻行人・東野圭吾などの大衆作家にも及ぶ。また、学生は純文学作家でありながら、推理小説の元祖と言われる、エドガー・アラン・ポーの作品も取り上げ、探偵・推理小説の歴史をも学ぶ。また、東西の恋愛小説も比較文化的な研究対象とする。あるいは、それらの文学作品と関連する映画の鑑賞も大きなテーマとなる。これらの作品（小説・映像）を、西洋の関連作品と比較・対比することによって、最終的には日本文化および西洋文化の本質について考える。

【到達目標】

学生が文化研究の伝統的な方法論を知り、それを踏まえた上で自分独自の創意工夫を凝らした研究を行うことができるようになること。最終的には、あらゆる領域の文化について、論文としての体裁の整ったレポートを書くことを目指す。

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式と演習形式の併用によって進められる。学生諸君のグループによって、発表してもらうこともある。せまい意味での文化研究ではなく、文学作品や映画を通して、浮き彫りにされる各時代の文化的諸相の理解が望まれる。また、映像を通して見る大衆文化も中心的な研究テーマの一つとなるため、映画撮影の現場を訪れ、映画制作を体感してもらうこともあり得る。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
1	大衆文化研究の意味	マシュー・アーノルドの『文化と無秩序』やレイモンド・ウィリアムズの『長い革命』を紹介し、大衆文化を研究することの意味を検証する。
2	比較文化研究の視点	マーシャル・マクルーハンの『ゲーテンベルグの銀河系』およびマックス・ウーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』を紹介しながら、比較文化的な視点とは何かを考える。
3	イングマルベルイマン『処女の泉』を見る。	映画の古典的名作を鑑賞することによって、アーノルドの説を検証する。性と暴力を描いたこの宗教的恐怖映画が持つ現代的意味を考える。
4	推理小説の歴史的研究『点と線』と『地獄の道化師』を読む。	江戸川乱歩の『地獄の道化師』と松本清張の『点と線』を読み、「本格」と「変格」をキーワードにして、推理（探偵）小説の歴史を考察する。
5	映画『点と線』を見る。	松本清張の原作『点と線』を読み、それがいかに映像化されたかを考える。
6	エドガー・アラン・ポー『黒猫』を読む。	ポーの『黒猫』を読み、小動物の持つ象徴性について考察する。

7	『地獄変』の英訳研究	芥川龍之介『地獄変』の一部原文と英訳を検討し、翻訳とは何かを考える。また、ポーの『黒猫』とも比較し、日米の小説で動物がどのように取り扱われているかも考察する。
8	「田端文士村記念館」見学	『地獄変』が書かれた背景を「田端文士村記念館」の訪問によって学習する。単なる作品研究ではなく、その時代の背景を知ることでも重要である。また、この記念館では芥川の動画を見ることが出来る。
9	学生による発表1	レジュメの書き方、発表の方法などについて、学生の発表を参照しながら、解説する。
10	映画『蒲田行進曲』を見る。	深作欣二監督の『蒲田行進曲』を見ながら、文化の大衆性とは何かを考える。また「入れ子構造」というキーワードから映画における演劇性の問題を考える。
11	横溝正史『八つ墓村』を読む。	この作品が津山事件とどういう関係にあるかを検証し、『アッシャー家の崩壊』との関連を考える。
12	映画『悪魔が来たりて笛を吹く』を見る。	映像を見ながら、帝銀事件という実際の事件を原作がどのように取り入れ、それがどのように映像化されているかを考察する。
13	学生による発表2 堀辰雄『風立ちぬ』を読む。	堀辰雄『風立ちぬ』について、学生に発表してもらう。恋愛小説を通して、同化と異化の問題を考察する。
14	映画『喜びも悲しみも幾年月』を見る。	木下恵介監督の同化の方法について考察し、人を感動させるための映画の手法と小説の手法について議論する。
15	レポートの回収と講評	論文の書き方について、回収レポートを見ながら、解説する。

秋学期

回	テーマ	内容
16	ルネ・クレマン『太陽がいっぱい』の鑑賞	フランス映画における、終わりの問題を考える。アリストテレスのペリパティアの理論を映画の演出に関連させて考察する。
17	フェデリコ・フェリーニ『道』を見る。	巨匠フェリーニの初期作品『道』に用いられているネオ・リアリズムの手法を考察する。
18	溝口健二『山椒大夫』の映画鑑賞	森鴎外原作『山椒大夫』が、溝口の手によって、どのように映像化されたかを、原作との差異を考察しながら、検証する。
19	小津安二郎『秋刀魚の味』の映画鑑賞	溝口や小津が海外で高い評価を受ける理由を、オリエンタリズムという視点から考察する。
20	東野圭吾『容疑者Xの献身』を読む。	ミステリー小説の構造を、アリストテレスが『詩学』の中で述べている理論で分析する。ギリシャ悲劇と近代ミステリーの類似点についても、考察する。
21	『容疑者Xの献身』の映画鑑賞	映像が小説に対して、一層、大衆的なものになり得る理由を考察し、映像と活字の問題を研究する。
22	レイモンド・ウィリアムズ『感情の構造』と昭和歌謡	ウィリアムズの言葉「感情の構造」を用い、横光利一の『上海』とも対比させながら、日本の昭和歌謡がどのような裏の意味を持っていたかを考える。

管理 ID: 1705247
授業コード: C1123

23	学生の発表4	4年生3人によるゼミ論の中間発表会。1人20分程度で、自分のゼミ論の構成と要旨を概説してもらい、それぞれが質疑応答を受ける。
24	学生の発表5	4年生によるゼミ論の中間発表会。具体的なやり方は、23に同じ。
25	学生の発表6	4年生によるゼミ論の中間発表会。具体的なやり方は、23に同じ。
26	遠藤周作『海と毒薬』を読む。	『海と毒薬』を読み進めながら、日本における罪の意識と西洋における罪の意識について考える。
27	浦山桐郎『私が棄てた女』映画鑑賞	人間の罪という問題を扱う際、活字とは異なる映像という媒体がどのような効果を生み出すか考察する。遠藤周作の原作と比較する。
28	60年代および70年代の背景	三島由紀夫の『鏡子の家』を紹介しながら、作品そのものよりも、むしろ、当時の時代背景に焦点を当てて概説する。
29	映画『復讐するは我にあり』を見る。	佐木隆三の原作『復讐するは我にあり』を読み、今村昌平の映画と比較考察する。
30	レポート回収と総括	講義・発表の総括を行い、比較文学・文化研究の将来の可能性について考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題図書は必ず読んで、授業に出席しなければならない。課題図書は、推理小説・日本近代文学作品・海外の翻訳作品など多岐に渡る。

【テキスト（教科書）】

共通のテキストは使わない。日本文学作品の英訳を取り扱うときは、英訳のプリントを配布する。原文の方は、各自で用意してもらう。また、参考書としてアリストテレス/ホラーテイウス『詩学・詩論』（岩波文庫、1997）を使用する。

【参考書】

『グーテンベルグの銀河系』（M. マクルーハン、みすず書房、1986）

【成績評価の方法と基準】

レポート課題（60%）、発表などの平常点（40%）。

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケートはおおむね良好だが、授業の延長については、映画鑑賞や特別な発表に限るべきだろう。部屋は2コマ分確保してあるが、目的もなく延長するのは好ましくない。むしろ、基本的には90分内にゼミが終了することを目指したい。

【学生が準備すべき機器他】

学生が用意すべき情報機器は特になし。

【その他の重要事項】

文化について考えることが好きな学生の参加を希望します。映画好きも大歓迎。このゼミでは、今まで見たことがないような風変わりな、興味深い映画を鑑賞することができます。また、知識よりも感性、頭のよさよりも、性格のよさを重視します。もちろん、ゼミ参加には協調性が一番大事です。特に今年は、映画関係者などと共同作業をすることがあり得ますから、そういうことに積極的に参加してくれる人間が望まれます。